

エントリーNo.24
グランプリ

うにょん?

UNIYON
MSX(32K)



ちょっと変わったパズルゲームが登場した。
その名も“うにょん?”。名前からして変なゲ
ームって感じてしょ。だけど、ソフコングラ
ンプリ作品だ。決してキミたちを退屈させる
ようなことはない。さあ、うにょんしようぜ。

祝



ソフコン初の グランプリなのだ!!!



グランプリになるには 大変な努力がいるのだ

いやー、やっと出た出た、やっと出た。ほんと、いつ出て来るのかなって一日千秋の思いで待ちこがれていたんだよ。え？ 何が出たのだって？ 決まってるでしょ、アナタ。1等賞ですよ、1等。

ソフトウエアグランプリからソフトウエアコンテストに衣がえをして8ヵ月目にして初めて“グランプリ”の栄誉が与えられるソフトが登場したのだ。何しろソフコン始まって以来のことだから編集部でも大さわぎ。毎日朝の早くから、パソコンのまわりに黒山の人だかり。そしてゲームをするには、整理券をもらって3時間も待つ始末。

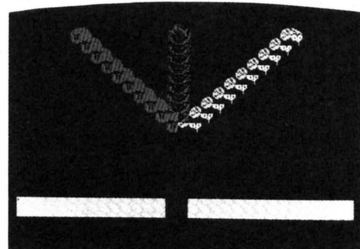
そんなに大さわぎをして、いったい全体どんなゲームかってゆーと、“UNIYON”。失礼、“うにょん？”なんて名前のへんてこりんのパズルゲームなんですよ、これが。

パズルゲームってゆーと、これがまた好き嫌いの差が大きいジャンルなんだけど、“UNIYON”に限っていえばそんな心配なんか全タナシ。編集部の中



画面を回転させちゃう
優れた発想にイザ乾杯!

やはり、グランプリを獲得するにはそれなりの完成度があるぞ! と、身をもって証明したような秀作のパズルゲームだ。なんと言っても“画面全体を回転させる”アイデアが、編集部内を魅了した。うにょんする? と新語まで生んだインパクトは、もう圧巻だ。ゲーム名や軽快なBGM、高い操作性。文句なしのグランプリだ。(室屋)



◆これがタイトル画面。早く遊びたい人は、テープログインを買っちゃいましょう。

の、面倒臭がり屋でパズル嫌いの人でさえやミツキになってしまうくらい面白いゲームなのだ。だから、MSXを持っている人は絶対に遊んでちょーだい。持っていない人は? そーだね、“テープログイン”を買って、電器屋さんとかメーカーのショールーム等々のMSXが置いてあるところで遊んでちょー。でも、店のオジサンに叱られても当編集部は一切関知しないからね。

話は突然真面目になるけど、ソフトコン応募希望者は必見のソフトだ。7月号でも少し書いたが、高原君や北川君のソフトと君のソフトで何が勝っていて何が足りないか、よく分析してみてください。そうすれば必ず良い作品ができるはず。君の応募、待ってるぜ!!

このキーを使う



左



右

SPACE

UNIYONする

画面を見ているだけで酔ってしまいそう

昔々、ある所に名もない小さな国がありました。そこは一年中暖かい日の光が降り注ぎ、美しい花が咲きみだれる平和な所でした。というも、この国には偉大な神からの贈り物、“Fifty-Crystal”が国を守り、人々に平和をもたらしていたからです。

ところがある日、この国にいつになく大きい地震が起きました。クリスタルの力によって、一人の死傷者も出すことはなかったのですが、地震の揺

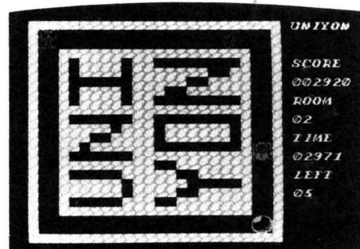
れによってクリスタルのひとつが台座から落ちてしまったのです。

そんなとき、ここぞとばかりにこの美しい国を我が物にしようと、地底より地獄の使者“3匹の悪魔”が姿を現わしたのでした。悪魔たちは、クリスタルを次々と台座から動かしクリスタルの力を無きものとしてしまいました。このため、この国はみるみるうちに荒んでいきました。

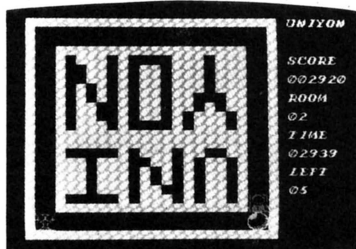
そこで登場するのが魔法使いのクリ

ン君。なにぶん彼は修行中の身なので、魔法使いとはいっても使える術はひとつだけ。空間をねじ曲げるヘンな魔法“うにょん”だ。残念ながらこの魔法は敵を殺すといった攻撃的な術ではないので、うまく悪魔たちの追跡をかわしながらクリスタルを台座に乗せなければならぬ。幸いこの術は重力にはまったく影響しないので、上手に使えば必ずやクリスタルは元に戻り、再び平和が訪れるはずだ。

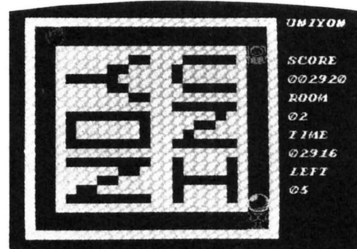
こうすれば UNIYON するのだ



★左へ“うにょん”させてみよう。この面は基本中の基本。よくマスターするよに。



★ひんたま君に捕まらないように注意して、もう一度左方向へ“うにょん”するのだ。



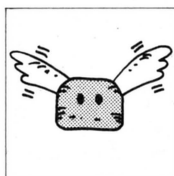
★さらにもう一度左へ“うにょん”させてみると……。ほーら、クリスタルが台座の上に。

登場キャラクター大公開!!



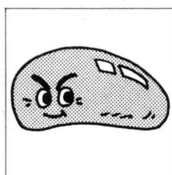
クリン君

このゲームの主人公。修行中の半人前魔法使い。今回の難行を成し遂げたとき、クリン君は一人前となる。



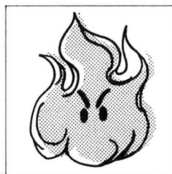
ぱたぱた君

重力に影響されずに、左右に移動することができる。クリン君を追いかけてこないのて接触さえしなければOK。



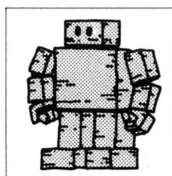
すらいむ君

重力の影響を受けながら左右に移動する。つまり、足が着いていない所では下に落ちてくる。これも接触注意。



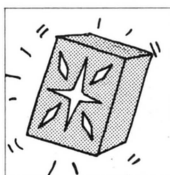
ひんたま君

クリン君を執拗に追いかけてくる炎の化身。ちょっと危い名前だがこれは“ひのたま”がなかっただけである。



石人

3匹の悪魔と戦って敗れた勇者たちのなれのはて。キミも油断をしていると悪魔に魔法をかけられてこうなるぞ。



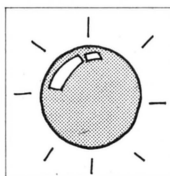
びびりかべ

これに触れると死んでしまう。フラッシュしている所が“それだ”。“うにょん”するときに気をつけるように。



?BOX

クリン君がこれに触ると何かが起こる。どのRoomにあるのか? また、何が起こるのかは見てのお楽しみ。



クリスタル

このようにクリスタルを台座の上にさせるのだ。必ず“うにょん”させて乗せること。横から押して乗せてもダメ。

キーの操作はホントに簡単。なんて
たってカーソルキー(右・左)とス
ペースキーだけなんだから。

“うにょん”させるには、カーソルキ
ーとスペースキーを同時に押せばOK。
ただし、“うにょん”させるにはクリン
君の足が地面(石人やクリスタルなど)
に着いていないとダメなので要注意。
ジョイスティックを使う人は、スティ
ックを倒しながらトリガーボタンを押
せば“うにょん”できる。

このゲームは全部で50面あり、5面
ごとにパスワードが表示される。この
パスワードは必ず何かにメモしておく
こと！ 忘れたら最後、また始めから
やり直してことになるぞ。

パスワードの入力方法はタイトル画
面のときに、[SELECT]キーとスペース
キーを同時に押して“Say jump spell”
と表示されたらキーボードから入力す
る。このときに、大文字と小文字を間
違えたり、余分なスペースを入れたり
すると、コンピュータは別の言葉と判
断し受け付けてくれないので、入力の
ときは急がず慎重に行なおう。

さあ、君は何日で全50面を解くこと



◆大変ご苦労さまでした。これでENDです。
だけどここまで来れる人、本当にいるのかな。

ができるか!? ある程度までは、規則
性をつかむとできると思うけど、そう
はいかぬはイカの○○。なんたってグ
ランプリの作品だぜ。Good-luck!

10面ごとの お楽しみ SHOW TIME!!



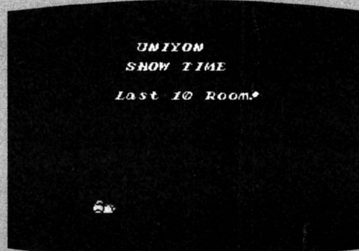
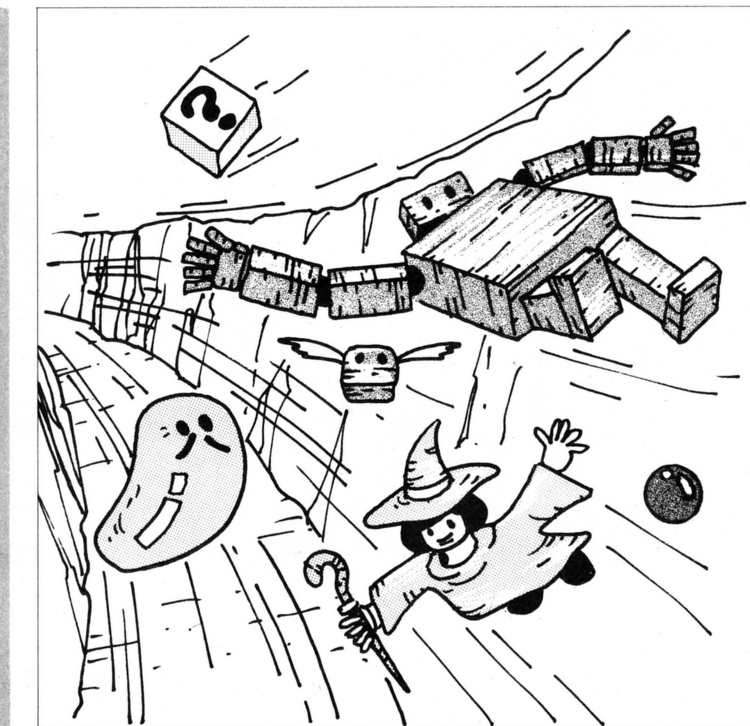
◆“おあそびクリン”。ま、10面くらいは慣れ
れば行けるでしょう。だけど調子に乗るなよ。



◆“おりこうすらいむ君”。ゲーム中に目が回
ってきた人は酔い止めの薬を用意しよう。

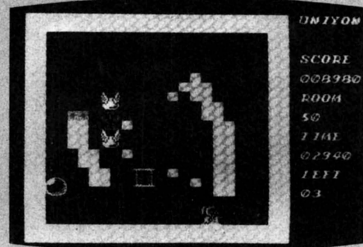


◆“マイケルクリン”。ここまで来るには相当
な努力が。しかし、先はまだまだ長いのだ。



◆“つかれたクリン”。いやー、よくここまで
いらっしやいました。もう少しですよ!

そしてこれが最終面だ!



「うにょん?」のプログラムリストは、LISTLOG300ページに掲載しました。